

NO	問題文			正答	出題ページ	配点																																								
	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3																																											
34	ロスと販売管理費の関係についての正しい説明はどれか。			3	33	1																																								
	売上を伸ばすことが困難になってきているために販売管理費、特に人件費削減は最も大きな対策になる。そのため、多少ロスが増えてもいたしかたない	売上を伸ばすことが困難になっているといってもやはり売上を伸ばすことは非常に重要である。販売管理費の低減は必要で、そのため従業員は限られることになるのでロスの増加にはをみつづけてでも売上を伸ばすことを優先すべきである	売上を伸ばすことが困難になってきているために販売管理費の低減は必要だが、あわせてロス削減への取り組みは重要である																																											
35	外部の不正の中の最近の傾向のひとつとして集団窃盗がある。これを何と呼ぶか。			2	42	1																																								
	RGL(Retail Group Larceners)	ORC (Organized Retail Crime)	OST (Organized Shoplifting and Theft)																																											
36	アメリカの小売業の不明ロス率の企業間のばらつき (数値はテキストに準じる) について以下の説明のうち正しいものはどれか			1	48	1																																								
	中央値は1.18%であり、平均値が1.38%であることから、平均値を上回る企業数と平均値を下回る企業数を比較すると平均値を下回る企業数が多いことがわかる	中央値は1.18%であり、平均値が1.38%であることから、中央値を上回る企業数と中央値を下回る企業数を比較すると中央値を下回る企業数が少ないことがわかる	中央値は1.18%であり、平均値が1.38%であることから、平均値を上回る企業数と平均値を下回る企業数を比較すると平均値を上回る企業数が多いことがわかる																																											
37	棚卸を行う時期についての説明で正しいものはどれか。			1	49	1																																								
	棚卸は決算期末に行くと法的には規定されているものの、日常の企業活動の中で継続的に正しく売入や仕入、在庫管理がおこなわれていることを示すことができれば、期末に一斉に実地棚卸せずに日程を変えることが認められる可能性がある	実地棚卸は決算期末に行くと法的には明示されておらず、帳簿 (理論) 在庫を棚卸資産として計上することで決算を行うことにはまったく問題がない	法的には通期と半期の決算数値を明らかにして申告せねばならないために、棚卸を行う時期は半期および通期の月末と決まっている																																											
38	次の表で逆ロスとなるものはいくつあるか。			3	51	1																																								
	みつ	よつつ	いつ																																											
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>商品名</th> <th>期首実在庫数量</th> <th>期中入荷数量</th> <th>期中販売数量</th> <th>期末実在庫数量</th> <th>商品名</th> <th>期首実在庫数量</th> <th>期中入荷数量</th> <th>期中販売数量</th> <th>期末実在庫数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>34</td> <td>60</td> <td>55</td> <td>41</td> <td>D</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>E</td> <td>6</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>21</td> <td>44</td> <td>47</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							商品名	期首実在庫数量	期中入荷数量	期中販売数量	期末実在庫数量	商品名	期首実在庫数量	期中入荷数量	期中販売数量	期末実在庫数量	A	34	60	55	41	D	33	29	31	32	B	25	33	34	26	E	6	17	16	8	C	21	44	47	19					
商品名	期首実在庫数量	期中入荷数量	期中販売数量	期末実在庫数量	商品名	期首実在庫数量	期中入荷数量	期中販売数量	期末実在庫数量																																					
A	34	60	55	41	D	33	29	31	32																																					
B	25	33	34	26	E	6	17	16	8																																					
C	21	44	47	19																																										
39	防犯カメラの設置の目的についての説明で正しいものはどれか。			3	54	1																																								
	最大の目的は万引犯などの犯行現場を撮影し、逮捕捕縛のための証拠を得るためである。予算の許す限り多くのカメラをつけるべきであり、それを犯人に知らせるべきではない	顧客を信用していないのではと危惧されるリスクがあるため防犯カメラで撮影していることを店内表示すべきではない。あくまでも犯行を秘密裏に撮影して犯行の証拠とすることが目的である	犯行を撮影記録して犯行の証拠として犯人逮捕に役立てることもあるが、それ以上に防犯カメラで撮影していることを知らしめることで犯行を抑止することを主目的としている																																											
40	次の空欄 (A) (B) (C) に入るものはどれか。「サイクル・カウントの目的は、(A)の実現と効果的な (B)の実現である。より具体的にはプロセス上の (C) と在庫データを正しい値に修正することである。」			3	57	1																																								
	(A) 在庫の最適化 (B) 作業指示 (C) 理論在庫	(A) 万引などのロスの把握 (B) 利益の最大化 (C) ムリ・ムダ・ムラをなくすこと	(A) 優れた顧客サービス (B) 事業運営 (C) 問題発見																																											
41	次の空欄 (A) (B) (C)に入るものはどれか。「不明ロスの改善に取り組むのであれば、第一にやらねばならないのは (A)と (B)である。つまり (C)をなくすことである。」			2	61	1																																								
	(A) 内部不正に関する従業員教育 (B)万引犯への対応教育 (C) 内部不正と管理ミス	(A) 正確な棚卸 (B) 伝票や売上の厳密な管理 (C) 管理ミス	(A) 万引防止対策 (B) 内部不正防止策 (C) 不正行為対策																																											
42	売上金・レジに関する不正のうち、レジ登録の際に友人や家族に対してレジ登録をせずに商品を通過させる行為をなんというか			2	67	1																																								
	ファミリー・セフト (Family Theft)	スウィートハーティング(Sweethearting)	スウィート・フロード (Sweet Fraud)																																											
43	内部不正を予防・防止するためのチェック機能についての説明で正しいものはどれか。			1	71	1																																								
	不正要因の一つである不正を行う機会を排除するには、すべての業務プロセスを見直し、不正が発生する可能性のある業務についてチェック機能を構築すべきである。チェック対象の業務においては、役職にかかわらず従業員に一人の権限で自由に「商品」「金」をうごかせないようなしくみを導入することが重要である	不正要因の一つである不正を行う機会を排除するには、すべての業務プロセスを見直し、不正が発生する可能性のある業務についてチェック機能を構築すべきである。チェック対象の業務においては、必ず複数の人間で行い、さらにマネジャーがすべてチェックすることで一人の権限で自由に「現金」をうごかせないようなしくみを導入することが重要である	不正要因の一つである不正を行う機会を排除するには、すべての業務プロセスを見直し、不正が発生する可能性のある業務についてチェック機能を構築すべきである。チェック対象の業務においては、部下が自ら上司に報告することを義務付けるのがよく、マネジャーはその報告を受けることで不正はすべて防止できる																																											
44	期末棚卸で架空在庫を計上することで見かけの粗利益を増やすことができる。以下の表で期末在庫の棚卸結果に売価で100を上乗せした。その場合粗利益率と粗利益高はどれだけ増えることになるか。(粗利益率は小数点第三位四捨五入、粗利益高は小数点第一位四捨五入)			1	77	3																																								
	粗利益率は0.31%、粗利益高は59増える	粗利益率は2.94%、粗利益高は380増える	粗利益率は0.94%、粗利益高は178増える																																											
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>正しい</th> <th>粗利益率を求める</th> <th>(現状) 1- {(2800+12500)÷(19000+3100)} =0.30769</th> <th>30.77%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首在庫高 (原価)</td> <td>2,800</td> <td>(架空) 1- {(2800+12500)÷(19000+3200)} =0.31081</td> <td>31.08%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>期首在庫高 (売価)</td> <td>4,000</td> <td>(粗利益率の差) 0.3108-0.3077=0.0031</td> <td>(0.31%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>期中仕入高 (原価)</td> <td>12,500</td> <td>粗利益高を求める (現状) 19000×0.3077=5846.3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期中仕入高 (売価)</td> <td>19,000</td> <td>(架空) 19000×0.3108=5905.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期中売上高 (売価)</td> <td>19,000</td> <td>(粗利益高の差) 5905-5846=59</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期末在庫高 (売価)</td> <td>3,100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							項目	正しい	粗利益率を求める	(現状) 1- {(2800+12500)÷(19000+3100)} =0.30769	30.77%	期首在庫高 (原価)	2,800	(架空) 1- {(2800+12500)÷(19000+3200)} =0.31081	31.08%		期首在庫高 (売価)	4,000	(粗利益率の差) 0.3108-0.3077=0.0031	(0.31%)		期中仕入高 (原価)	12,500	粗利益高を求める (現状) 19000×0.3077=5846.3			期中仕入高 (売価)	19,000	(架空) 19000×0.3108=5905.2			期中売上高 (売価)	19,000	(粗利益高の差) 5905-5846=59			期末在庫高 (売価)	3,100								
項目	正しい	粗利益率を求める	(現状) 1- {(2800+12500)÷(19000+3100)} =0.30769	30.77%																																										
期首在庫高 (原価)	2,800	(架空) 1- {(2800+12500)÷(19000+3200)} =0.31081	31.08%																																											
期首在庫高 (売価)	4,000	(粗利益率の差) 0.3108-0.3077=0.0031	(0.31%)																																											
期中仕入高 (原価)	12,500	粗利益高を求める (現状) 19000×0.3077=5846.3																																												
期中仕入高 (売価)	19,000	(架空) 19000×0.3108=5905.2																																												
期中売上高 (売価)	19,000	(粗利益高の差) 5905-5846=59																																												
期末在庫高 (売価)	3,100																																													
45	万引の実態についての説明で正しいものはどれか。			2	85	1																																								
	万引犯の認知件数は年間10万件前後であり、全刑法犯認知件数の20~30%程度を占めている	万引犯の認知件数は年間10万件前後であり、全刑法犯認知件数の10~15%程度を占めている	万引犯の認知件数は年間1万件前後であり、全刑法犯認知件数の10~15%程度を占めている																																											
46	次の空欄 (A) (B) (C) に入るものはどれか。「2024年度 (A)白書によると、(A)でのセルフレジの利用率は (B)を超えており、(C)などでも導入が進んでいる。」			2	93	1																																								
	(A)ドラッグストア (B)8割 (C)衣料品専門	(A)スーパーマーケット (B)7割 (C)コンビニ	(A)専門店 (B)5割 (C)ホームセンター																																											
47	配達業者、もしくは社内の配達担当者の不正を予防するための対策で誤っているものはどれか。			2	100	1																																								
	買物客や従業員の駐車場とは離れた荷受場所で荷受する	購買 (発注) 機能と荷受機能とを同じにし、発注したものが正しく届いているかを確認する	定期的な納品先とその住所を確認するためになどに発注業務の監査を行う																																											
48	次の空欄 (A) (B) に入るものはどれか。「インターネットを使った商品購入の際にクレジットカードを使った不正行為があります。例えば盗んだ他人のクレジットカードの磁気ストライプカードに書き込まれた情報を抜き出すことを (A)といい、他にも注文した商品の支払いを逃れるため不当に (B)を申請するという手口もあります。」			1	107	1																																								
	(A)スキミング (B)チャージバック	(A)スキミング (B)ノンペイメント	(A)クローン (B)スキミング																																											
49	次の表のうち逆ロスとなっているものはいくつあるか。			1	124	1																																								
	ひとつ	ふたつ	みつ																																											
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>棚卸のカウンミス (過剰にカウント)</td> <td>④</td> <td>店舗間の商品振替の手続きもれ (出荷店舗側)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>入荷商品の紛失</td> <td>⑤</td> <td>レジでの架空返金と代金着服</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>万引行為の黙認</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							①	棚卸のカウンミス (過剰にカウント)	④	店舗間の商品振替の手続きもれ (出荷店舗側)	②	入荷商品の紛失	⑤	レジでの架空返金と代金着服	③	万引行為の黙認																														
①	棚卸のカウンミス (過剰にカウント)	④	店舗間の商品振替の手続きもれ (出荷店舗側)																																											
②	入荷商品の紛失	⑤	レジでの架空返金と代金着服																																											
③	万引行為の黙認																																													